



古代人の争いについて

—西日本防災システム

その1

NBS119



アフリカでこんな痕跡が発見されたそうです！

火災には全く関係ありませんが ショックでしたのでお伝えします！

英国ケンブリッジ大学などの国際研究チームが科学誌ネイチャー電子版に発表した情報です。

アフリカ・ケニアのトゥルカナ湖近くで、約**1万年前**に狩猟採集民の集団同士が争い

こん棒ややりなどで殺害されたとみられる**27人分**の人骨が見つかったそうです。

古代、農耕が可能になりますと、土地や収穫物をめぐる争いが増えたようですが、

狩猟採集時代の集団的な争いの跡は非常に珍しいそうです。



人骨の発掘場所は当時の湖岸付近で、水や魚介類などの食料を得やすい場所だったようです。

縄張りや食料などをめぐる争いか、出合い頭の偶発的な戦いかは分からないようですが、

人類が延々と続けている戦争や争いの起源かも！

27人のうち子供が6人、大人は男女8人ずつで性別不明が5人だったそうです。



埋葬された形跡はなく、大人10人のほぼ全身がそろった骨格には、こん棒などで殴られて

骨折したり、やりや矢を受けたりした跡が見つかったそうです。子供も居たのはショックです。

男性1人の頭骨には、矢尻とみられる鋭い黒曜石があったんだそうです。女性のうち

1人は妊婦で、手足を縛られて殺害されたとみられ、胎児の骨も見つかったようです。

1万年前から人間はほんとにバカなんですね！全く進歩していないんですね！

早く心を入れ替えないと 地球そのものが危機に????

目を見ませ！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社Top Pageへ 



古代人の争いについて

—西日本防災システム

その2

NBS119



INRAPフランス国立予防考古学研究所は次の様な発表をしました。

フランス東部のアルザス地方のストラズフル郊外で、**6000年前**の新石器時代に起きた虐殺の犠牲者の遺体を発見したと明らかにしました。

研究チームによりますと、穀物などを保存するために使われていた300力所ある食料庫の一つから10人の遺体が見つかったそうです。暴力によって死に至ったとみられ

手足や頭蓋骨に複数の傷があったようです。

遺体の状況から同時に殺害され、食料庫に放り込まれたと考えられるようです。

その傷の痕跡から、強い殺意が読み取れるとも……………

INRAPの研究者は「彼らは非常に残虐なやり方で処刑され、暴力的な打撃を受けており、ほぼ確実に石おのによるものだ」と語っているそうです。

成人5体と若者1体の骨のほか、別々の人物の腕4本が見つかっているそうです

この腕は**戦利品**ではないかと考えられているそうです。

これらのニュースを見つけた時の、何とも言えない空しい気持ちは表現できません。

とんでもない進化を遂げ、今尚進化し続けている**人間様**！ ですが やっている事は武器こそ進化していますが、一万年前から同じです。もういい加減に気付けよ！ 目を覚ませ

今から1万年後に「当時の人間はこんな武器を作って殺し合いをやっていた」・・なんて発見されないようにしなくては！！



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>

目を覚ませ！



弊社Top Pageへ →